

夢を描き希望に満ちた新たな門出

1月12日に東総文化会館で「旭市二十歳のつどい」が挙行政され、

二十歳の節目を迎えた452人が参加しました。

家族や恩師が見守る中、代表者による抱負や決意が発表されたほか、

実行委員会が制作した思い出のスライド上映や、

恩師からのメッセージが贈られ、会場は笑顔であふれていました。



二十歳の皆さん 将来の夢や今後の目標を教えてください！



浪川隼太さん
(海上中出身)



永井彩夏さん
(二中出身)



遠藤巧巳さん
(一中出身)



川嶋杏実さん
(飯岡中出身)



高木星来さん
(千湯中出身)



旭市二十歳のつどい実行委員と意見発表者

委員長にインタビュー

旭市二十歳のつどい実行委員会
委員長 崎山隼士さん



委員長として「旭市二十歳のつどい」の開催に携われたことや、中学校時代の仲間と再会し、思い出を振り返ることができたことを、本当にうれしく思います。

私が特に意識したのは、各委員の意見が反映されるように話し合いをまとめることでした。委員が思いを込めて制作したスライドが上映され、歓声や拍手で会場が沸き上がった瞬間には、とても感動しました。

実行委員会への参加を通じて、仲間と共にチームで何かを成し遂げる力を培うことができました。この経験を糧に、これからもリーダーシップを発揮していきたいと思えます。二十歳を迎えた皆さん、それぞれ進む道は違いますが、同じ旭市出身者として、将来の日本を支える存在となるよう、お互い頑張りましょう。